

巻 頭 言

東日本大震災で犠牲になられた大勢の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げますとともに、被害を受けられた方々に心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復旧と皆様のご健康をお祈り申し上げます。

ここに平成22年度センター長会会報第51号をお届けいたします。平成22年度全国精神保健福祉センター研究協議会は平成22年10月26日、27日の2日間、東京都において、都の精神保健福祉センターの主催で、開催されました。本号には、研究協議会報告を中心に、会議報告、調査研究報告などをまとめましたので、会員の皆様にご報告申し上げます。研究協議会報告は全国の精神保健福祉センターの最新の活動を記録した報告となっており、関係者の皆様の忌憚のないご意見やご示唆をお願いいたします。

さて、平成10年以後、13年間にわたり自殺者数が3万人を越える状態が続いており、自殺予防対策が重要な国家的課題となっています。平成18年6月に、自殺対策基本法が成立し、国、地方公共団体、事業主、国民の責務が定められました。また、平成19年6月には自殺総合対策大綱が策定され、国及び地方自治体において様々な施策が推進されることとなりました。自殺対策は「社会的な取組として実施されなければならない」とされ、精神保健福祉領域のみの問題ではありませんが、精神保健福祉センターとしても重要な役割を担っていくことが求められています。

そこで、平成20年9月より、当会としては初めての取組として、会員の協働により、3年間継続して、自殺予防・全国精神保健福祉センター共同キャンペーンに取り組むこととなりました。初年度の平成20年度の取組みは自殺予防における「気づき」や「見守り」の大切さや、自死遺族支援の重要性について国民の理解の促進を図りました。2年目となる平成21年度は、「自死遺族支援」に加え「多重債務問題」も重点課題に選びました。3年目となる平成22年度は、さらに「睡眠キャンペーン」も重点課題に加わりました。この3年間の取組みを記録にとどめ、今後の精神保健福祉センターおよびわが国全体の自殺対策について役立てていただくために、別に、報告集を作成いたしました。

精神保健福祉センター、保健所、市町村の精神保健相談機能について検討する「相談対応における行政機関の役割と連携に関する研究」が、山下前会長を中心として、平成21年度から3年継続で行われています。精神保健福祉センターは「相談及び指導のうち複雑又は困難なものを行う」とされていますが、ひきこもり、薬物依存症等、センターが新たに対応すべき課題や、家庭内暴力や地域・近隣での他害・迷惑行為といったケースへの対応について、センター、保健所、市町村の精神保健及び精神障害者福祉の様々な相談の役割や連携について、全国のセンターを対象に「精神保健福祉センターの現状と今後の取組に関する調査」を実施しました。この研究の1つの展開として、センター、保健所、市町村における相談員等がさまざまな内容の精神保健福祉相談により円滑に応じることができ

るように、厚生労働科学研究の成果を中心とした各種の相談マニュアル等を掲載した、ウェブサイト「精神保健福祉相談」情報ページを開設することができました。

(<http://www.acplan.jp/soudan/mind.html>)

このように、当会の事業として、ホームページを開設しており、会員相互の情報交換はもとより、一般市民の皆様へも情報発信をしてみたいと考えています。

精神保健福祉センターにおいては、精神医療審査会の事務、自立支援医療（精神通院医療）及び手帳判定などの法定業務に加え、自殺対策、ひきこもり対策、思春期対策、退院可能精神障害者の地域移行支援、アウトリーチ事業、災害・事故・犯罪等のこころのケアなど、求められる役割はたいへん多岐にわたっています。これらのニーズに着実に応えていくためには、精神保健福祉センターの機能強化もきわめて重要な課題であると考えています。今後も、地域における精神保健福祉の充実を図ることで、精神保健並びに精神障害者福祉の向上に一層取り組んでみたいと考えていますので、会員の皆様にご協力をお願いするとともに、都道府県民、市民、関係諸機関、関係諸団体の皆様方の一層のご理解とご支援を心よりお願い申し上げまして、巻頭のご挨拶に代えさせていただきます。

平成23年7月

全国精神保健福祉センター長会会長
小 泉 典 章

目 次

巻頭言

第Ⅰ部 会議

| | |
|-----------------------------------|----|
| 1. 平成22年度（第47回）全国精神保健福祉センター長会定期総会 | 1 |
| 2. 平成22年度 全国精神保健福祉センター長会会議 | 17 |
| 3. 平成22年度 全国精神保健福祉センター長会理事会 | 19 |
| 4. 平成22年度 全国精神保健福祉センター長会常任理事会 | 24 |

第Ⅱ部 各ブロック会議

| | |
|---------------|----|
| 1. 東北・北海道ブロック | 31 |
| 2. 関東・信越ブロック | 33 |
| 3. 中部・近畿ブロック | 34 |
| (1) 中部ブロック | 35 |
| (2) 近畿ブロック | 38 |
| (3) 北陸ブロック | 39 |
| 4. 中国・四国ブロック | 40 |
| 5. 九州ブロック | 42 |
| 6. 大都市部会 | 44 |

第Ⅲ部 調査研究

| | |
|---------------------------|----|
| 1. アウトリーチワーキンググループの活動について | 47 |
|---------------------------|----|

第Ⅳ部 共同キャンペーン

| | |
|---|----|
| 1. 自殺予防・全国精神保健福祉センター共同キャンペーンについて（3年間のまとめ） | 51 |
|---|----|

第Ⅴ部 平成22年度（第46回）全国精神保健福祉センター研究協議会

1. 講演

| | |
|-----------------|----|
| 「現代人の苦悩と死生観の変容」 | 60 |
|-----------------|----|

東京大学大学院人文社会系研究科教授 島菌進氏

| | |
|---------------|----|
| 「精神保健福祉行政の動向」 | 60 |
|---------------|----|

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部

精神・障害保健課 心の健康づくり対策官 荒川亮介氏

2. 一般演題 1

| | |
|------------------------------------|----|
| 1 「ひきこもり本人グループ」の現状報告と支援の広がり | 64 |
| 2 長野県におけるひきこもり支援の現状とひきこもり支援センターの役割 | 66 |
| 3 山口県における社会的ひきこもり支援の広がりについて | 68 |

| | | |
|-----------|---|-----|
| 4 | 浜松市におけるひきこもり相談の現状と課題 ―今後の展開についての検討― | 70 |
| 5 | 滋賀県のひきこもり相談支援におけるひきこもり支援センターの役割を考える ～社会的ひきこもり事業に係る実態調査の結果より～ | 72 |
| 3. 一般演題 2 | | |
| 6 | 小中高等学校における長期不登校・ひきこもり傾向を認めるアスペルガー症候群の児童生徒の課題と支援 | 74 |
| 7 | ひきこもり家族教室メンター派遣事業の紹介及び現状と課題 | 76 |
| 8 | 思春期関連問題（ひきこもり・家庭内暴力）に見られる家族の傾向と支援について ―家族教室の利用を通じて― | 78 |
| 9 | 当センターにおける保健所に対する青年期発達障害の支援の現状と課題 | 80 |
| 10 | 公設精神科デイケアの新たな可能性 ―発達障害者への専門支援― | 82 |
| 11 | 長期に自宅にひきこもり、家族や近隣に対して攻撃的（時に妄想的）言動を繰り返すアスペルガー症候群のたくさんの事例 | 84 |
| 12 | 思春期相談・学校連携事業の取組みについて | 86 |
| 4. 一般演題 3 | | |
| 13 | 県内市町村における精神保健福祉活動の実態と課題について ―市町村アンケート調査から― | 88 |
| 14 | 浜松市在住ブラジル人のメンタルヘルス実態報告 ―経済状況の変化とこころの健康に関する調査結果から― | 90 |
| 15 | 川崎市における地域リハビリテーションシステムの展開 ～多様化する課題に対応した地域支援システム構築について～ | 92 |
| 16 | アウトリーチ支援モデル事業の考察と課題 | 94 |
| 17 | 宮崎県の口蹄疫対策における被災者支援とその実績に関する報告 | 96 |
| 18 | 岡山県精神保健福祉センターにおける県内保健所との連携システム | 98 |
| 19 | 東京都立中部総合精神保健福祉センターにおけるアウトリーチ活動の実践 | 100 |
| 20 | 全国C R Tの現況報告 2010 | 102 |
| 5. 一般演題 4 | | |
| 21 | 一般診療科におけるうつ病治療の現状に関する調査報告 | 104 |
| 22 | うつ病専用電話相談の利用状況とその考察 | 106 |
| 23 | うつ病家族教室の取り組み | 108 |
| 24 | うつ病デイケアの試み | 110 |
| 25 | 公設精神科デイケアの新たな可能性 ―うつ病休職者・離職者への専門支援― | 112 |
| 26 | うつ病家族教室の取り組み うつ病に関するデイケア事業等の実施状況調査結果 | 114 |
| 6. 一般演題 5 | | |
| 27 | 群馬県こころの健康センターにおける医療観察法対象者支援の取り組み | 119 |

| | | |
|----|---------------------------------------|-----|
| | ～アウトリーチ活動のしくみで地域支援を行う～ | |
| 28 | 精神科長期入院患者の退院に関わる要因について | 121 |
| 29 | 地域移行・地域定着支援事業 | 123 |
| | ～退院意欲向上を目指した精神科病院との協働した取り組み～ | |
| 30 | 群馬県こころの健康センターにおける家族支援の取り組み | 125 |
| | ～家族教室と家族会活動による家族支援～ | |
| 31 | 神奈川県と神戸市の措置診察の地域差について | 127 |
| 32 | デイケア導入におけるプレグループの取り組みについて | 129 |
| 33 | 地域薬局と連携した服薬支援の2例 ー薬局を介した援助ー | 131 |
| 34 | 島しょにおける精神障害者の就労 ～社会適応訓練事業を通して～ | 133 |
| 35 | 公設精神科デイケアの新たな可能性 ー高次脳機能障害者への専門支援ー | 135 |
| 7. | 一般演題 6 | |
| 36 | 身近なこころの支援者の育成とその展望 | 137 |
| | ー市民協働型の地域精神保健をめざしてー | |
| 37 | 精神保健福祉センターにおける直接的な自殺防止の取り組み | 139 |
| 38 | 自殺多発地における保健所・精神保健福祉センターの取り組み | 141 |
| 39 | 大阪市こころの健康センターにおける自死遺族相談について | 143 |
| 40 | 相模原市におけるアルコール関連問題の一次予防および二次予防 | 145 |
| 41 | アルコール・薬物・ギャンブル等の本人再発予防プログラム | 147 |
| | ーTAMARPPの報告ー | |
| 42 | 神奈川県域における自殺に関する統計分析 ー地域分析ー | 149 |
| 43 | 地域自殺対策推進事業の報告と今後の地域支援について | 151 |
| | ー動き始めた市町村におけるモデル事業の検証と効果的な事業の拡大に向けてー | |
| 44 | アルコール依存症者におけるうつ病と自殺関連行動との関係 | 153 |
| 45 | 精神保健福祉センターにおける若年者向け薬物再乱用防止プログラムの開発と実践 | 155 |